

# せいしんDX戦略

---

令和5年3月10日  
静岡信用金庫

## ■ 当金庫を取り巻く環境

当金庫は中小企業の発展や地域の皆さまの豊かな生活に貢献するために、創立以来コンサルティング能力に磨きをかけて参りました。

他方、デジタル技術の発展に伴い、事業者の皆さまのビジネスモデルや地域金融機関の使命も変化しつつあります。

こうした中、当金庫がより一層コンサルティング能力を発揮し、地域社会に貢献していくためには、時代を見据えた弛まぬ変革が必要であると考えております。

## ■ 当金庫の課題

対面・非対面の両面からより良いサービスを提供していくための体制構築や、デジタル技術を活用した業務効率化、環境変化に対応できる人材育成が必要と認識しております。

当金庫は、地域の皆さまの輝ける未来に向けて貢献し続けるため、全役職員が変革意識を持ち、DX(デジタルトランスフォーメーション)に取り組んでいく所存です。

令和5年3月10日

静清信用金庫 理事長

佐藤 徳則

# 2.DX戦略の全体像について

## 経営理念

1. 地域社会の繁栄に貢献する。
2. お客様の信頼にこたえる。
3. よき信用金庫人をめざす。

## 現状分析

- お客様-Customer-
- ・スマートフォン世帯保有率の増加
  - ・貯蓄から投資の流れ
  - ・コロナ禍による行動変容

- 競合-Competitor-
- ・ Fintech・ネットバンク等の台頭
  - ・ 金融機関のコスト構造の変化
  - ・ キャッシュレス決済の進展

- 当金庫-Company-
- ・ 従来からの事務処理の踏襲
  - ・ 多様なニーズへのチャネル不足
  - ・ デジタル人材不足

## 社会変容・環境変化への対応

## DX-Vision

デジタル技術を活用し、顧客ニーズに基づく最適なソリューションを提供できる体制を構築することで、地域社会の繁栄に貢献する

## 重点戦略

重点戦略1.  
抜本的な  
業務プロセス改革

重点戦略2.  
顧客利便性を  
追求したサービスの  
提供

重点戦略3.  
人材育成と  
推進体制の構築

## 戦略を通じた変革

ビジネスモデルの変革

組織文化・プロセスの変革

## 重点戦略1 抜本的な業務プロセス改革

### アクションプラン

- ・ 窓口業務におけるローコストオペレーションの実現
- ・ バックオフィス業務の効率化

## 重点戦略2 顧客利便性を追求したサービスの提供

### アクションプラン

- ・ 非対面サービスの拡充
- ・ データに基づく営業活動の展開

## 重点戦略3 人材育成と推進体制の構築

### アクションプラン

- ・ DX人材の育成
- ・ 組織体制の見直し

# 4. 主な取組み施策について

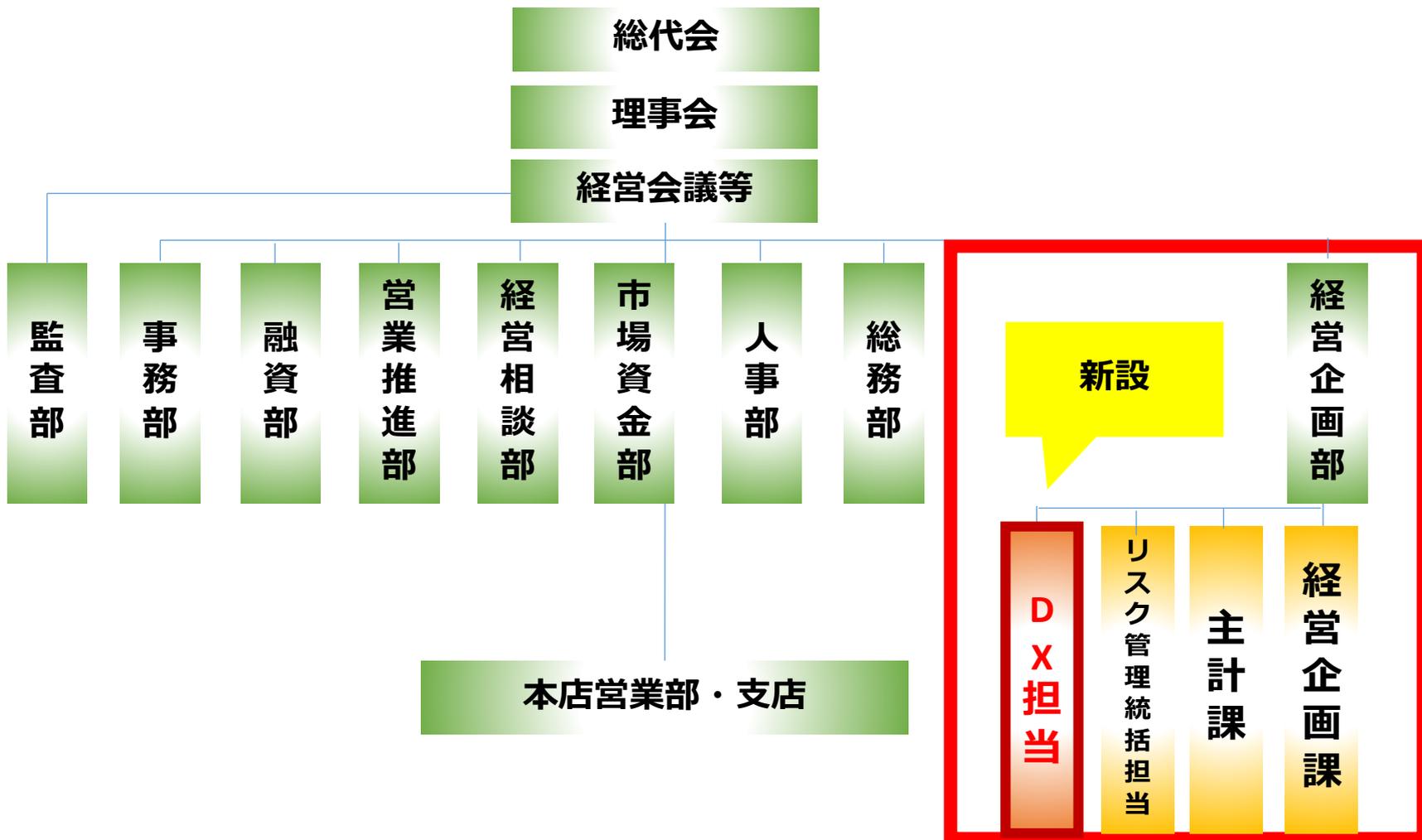
重点戦略	戦略に基づくアクションプラン	施策
抜本的な業務プロセス改革	窓口業務における ローコストオペレーションの実現	<ul style="list-style-type: none"><li>・ オペレーションレスと伝票レスの実現</li></ul>
	バックオフィス業務の効率化	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 決裁業務のハンコレス・電子化</li><li>・ 本部業務における暗黙知の形式知化</li><li>・ 事務の本部集中化による業務効率化</li></ul>
顧客利便性を追求した サービスの提供	非対面サービスの拡充	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 通帳アプリの機能拡充</li><li>・ WEB完結型ローン商品の充実</li><li>・ SNSを活用した情報発信の強化</li></ul>
	データに基づく営業活動の展開	<ul style="list-style-type: none"><li>・ データ分析により、CRM・マーケティングの高度化と営業活動の効率化を推進</li></ul>
人材育成と推進体制の構築	DX人材の育成	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 職員の育成を目的としてDX関連資格の取得を推奨</li></ul>
	組織体制の見直し	<ul style="list-style-type: none"><li>・ DX戦略の立案・実行管理を行う担当の配置</li></ul>

# 5.環境整備のための具体的方策

施策	具体的方策
<ul style="list-style-type: none"><li>オペレーションレスと伝票レスの実現</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>営業店窓口支援システムおよびタブレットの導入検討</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>決裁業務のハンコレス・電子化</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>イントラネットにおけるワークフロー活用</li><li>融資稟議支援システムにより、融資稟議の決裁を電子化</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>本部業務における暗黙知の形式知化</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>経理業務や収益管理業務におけるシステム導入検討</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>事務の本部集中化による業務効率化</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>営業店融資事務の本部融資事務集中課への移行促進</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>通帳アプリの機能拡充</li><li>WEB完結型ローン商品の充実</li><li>SNSを活用した情報発信の強化</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>しんきん通帳アプリに諸届機能追加</li><li>顧客のニーズに基づく商品企画を検討</li><li>LINEによる情報発信の企画・強化</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>データ分析により、CRM・マーケティングの高度化と営業活動の効率化を推進</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>営業支援システムとデータ活用基盤等を活用した分析の実施・施策の立案</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>職員の育成を目的としてDX関連資格の取得を推奨</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ITパスポートをはじめとしたDX関連資格の取得推奨</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>DX戦略の立案・実行管理を行う担当の配置</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>経営企画部内に「DX担当」を配置</li></ul>

# 6.DX推進体制

**「DX担当」の新設**  
DX推進の実効性向上を図るべく、経営企画部にDX担当者を配置する。



# 7.KPI(重要業績評価指標)について

1. 業務効率化によりコアOHRを改善する  
■ 令和6年度末にコアOHRを70%台とする。

2. お客さまとの接点を増やすことで、  
事業性融資のお取引先数を増加させる  
■ 令和4年度～令和6年度の間で、  
事業性融資のお取引先を300先増加させる。

3. DX関連資格取得者を増加させる  
■ 令和4年度～令和6年度の間で、  
DX関連資格※取得者を50人とする。

※DX関連資格一覧(職員の能力向上に寄与する資格は適宜追加する予定)

資格名	実施主体
ITパスポート	IPA 独立行政法人 情報処理推進機構
金融業務3級DXコース	一般社団法人 金融財政事情研究会
DXサポート	銀行業務検定協会